

【論考】

知覚リスクと障壁を克服することで、学生が米国で

学位を取得する夢の達成を支援する

-米国の国際教育者からの考察-

Helping Students Achieve Their Dream of Earning a Degree in the US
by Overcoming the Perceived Risks and Barriers
Insights from a US International Educator

テキサス工科大学 リチャード ポーター

Richard Porter, Ed.D.

(Director of International Student and Scholar Services

Office of International Affairs, Texas Tech University)

キーワード：アメリカ留学、アメリカ留学の障壁、コミュニティカレッジ、長期留学、海外留学

筆者の背景

私は現在、テキサス工科大学（以下「TTU」という。）の留学生および研究者に対するサービス担当のディレクターです。私の日本人学生との仕事の経験は、1980年代初頭に始まりました。

私は、カリフォルニアで修士号と学士号を取得している間、留学生を支援するボランティアコミュニティ組織を通じて、日本人の学生と一緒に働きました。修士課程修了後、日本に行き金沢市の短期大学で教えました。私は日本に6年間住んで働いた後、米国に戻りました。それ以来、私はさまざまな大規模な公立大学や、ミズーリ州、ワシントン州、テキサス州等のいくつかの米国の州で、いくつかの国際交流のオフィスの管理職を務めてきました。

私の日本への継続的な関心は、高等教育リーダーシップ（Porter、2016）の博士号を取得した論文に反映されています。この論文は、日本の大学の留学管理者の観点から、日本人の海外留学動向に焦点を当てたものでした。

TTUで留学生および研究者へのサービス担当ディレクターとして働いている間、2017年に駐日米国大使館から TeamUp 助成金を授与され、TTUと日本の大学とのパートナーシップを確立し強化するため

に日本を訪問しました。

最近、International Education of Association (NAFSA) の年次総会で、TeamUp の助成金プログラムと日本の海外留学動向に関するセッションでいくつか発表しました。

本稿では、私の日本および米国の大学での経験に基づき、日本人の学生、留学を支援し促進する日本の大学の専門家および日本政府の政策立案者に役立つ情報を提供したいと思います。

I. はじめに

1. 背景

世界が変化し、世界のさまざまな地域で経済が成長および縮小するにつれて、日本人学生が留学するために選択する地域は、多くの戦略的な場所になってきました。世界の変化、特にアジア地域の変化を考えると、米国はもはや日本人学生の海外留学先として最良の選択ではないかもしれません。

1997年当時は、日本人学生の留学の選択はかなり明確でした。彼らは、米国の長期プログラムに参加することを選択しました。Institute for International Education Open Doors レポート (IIE、2020) によると、当時、日本人学生は米国で最大の留学生人口 (47,073) でした。このレポートは、米国の大学において長期プログラムで学習している学生数です。

同じ年に中国は 46,958 人の長期の留学生を米国に送り、韓国は 42,890 人送っていました。2019年までに、日本は米国の長期プログラムで学ぶ留学生の国別リストの 8 番目、18,105 人になりました。韓国の学生は増加し、54,555 人で 3 番目になり、中国の学生は 369,548 人 (IIE) で米国への長期留学生のナンバー1 の位置を占めることとなりました。

以下の図 1 に示すように、2009 年から 2016 年にかけて、米国の短期留学プログラムに参加する高等教育機関に在籍する日本人学生の数が大幅に増加しました。同時に、米国の長期プログラムに参加する学生数は引き続き減少しています (IIE、20219)。

この傾向は米国の学生にも共通しています。長期留学プログラムに参加する米国の学生数は、過去 20 年間で減少しています。たとえば、2005 年から 2018 年にかけて 1 セメスターに学習する学生の割合は、36.9% から 30.3% に減少しました。その間、年度のプログラムに参加する学生数は 5.3% から 2.2% に減少しました。(IIE、2020)

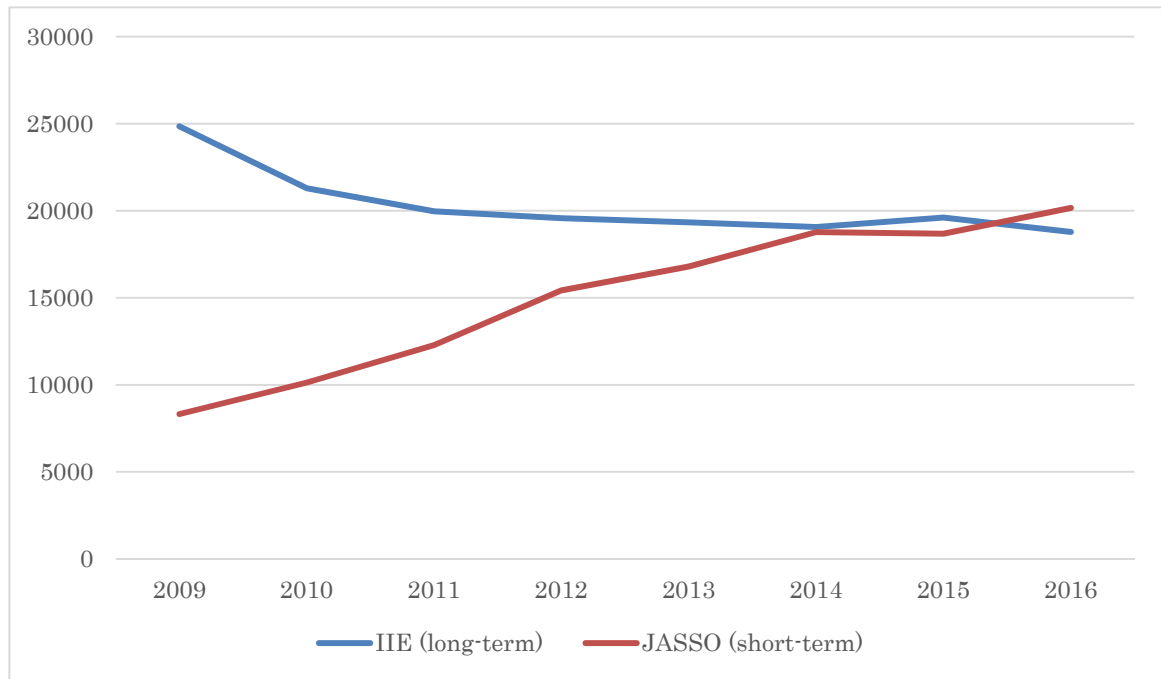


図 1 米国における長期および短期の日本留学の傾向。(出典：Porter、Edmond、および Ota、2018)

2. この論文の目的

この論文は、日本人の読者に米国教育を宣伝することに焦点を当ててはおりません。世界の変化を考えると、日本人学生のキャリアや日本人の興味にもっと関連する国が米国以外に他にたくさんあることを認めます。

私の主な目的は、米国で学位を取得することを検討している日本人学生の知覚リスクと障壁のいくつかを特定して対処することです。私の対象となる大衆は、米国で長期の学位プログラムを検討している日本人の学生、これらの学生の留学を奨励し、支援する立場にある人、そして留学の参加を促進するための政策を策定し、リソースを提供する政府および民間の会社の人々です。

短期プログラムの価値についてはとりあげませんが、長期学位プログラムへの参加を奨励することは日本にとって最大の利益であり、日本政府は、間違いなく、より影響の少ない短期プログラムに学生が参加する強い傾向に対処すべきだと思っています。

私の目標は、競争が激化し、多様化し、複雑化するこの地球的環境の中、学生の将来と日本の未来を改善するために、長期学位プログラム参加を選択する学生の数を減らさないように役立つ情報を提供することです。

この論文で取り上げる米国への留学に関連する主な課題と懸念には、次のようなものがあります。

- ・米国はもはや留学生にとって歓迎すべき国ではないかもしれないという認識
- ・米国の大学教育の高コスト

- ・米国の多様なタイプの機関と複雑な高等教育システムの中から適切な学校を選択すること
- ・米国における個人の安全に関する懸念

注：チャイルドリサーチネットで発行した私の以前の論文では、英語のトレーニングと準備、学術的サポートなどの追加課題を扱いました。(Porter、2018a、2018b、2018c)。

II. 米国はもはや留学生にとって歓迎すべき国ではないかもしれないという認識

米国政府は、留学生のための居心地の良い雰囲気を作り出したり、設計したりする上で、良い仕事をしていません。

現在の政権は、米国への訪問または研究を希望する人々に否定的なメッセージを送る、さまざまな物議を醸す行政命令と新しい規制を発しています。この状況により、世界中の学生が、そして日本の学生が、米国で学習することを選択した場合、歓迎されるかどうかを疑問視しています。

米国の大学と国際教育のコミュニティは、留学生の歓迎を強調するキャンペーンを通じてこの負のイメージに対抗しようと試みてきました。長年にわたって私がメンバーおよびリーダーとして参加してきた国際教育者の協会がこのキャンペーンを主導しています (NAFSA：国際教育者の協会、n. d)

(以下図 2 参照)。



図 2. NAFSA： 「あなたを歓迎キャンペーン」実施の国際教育者の協会。

私が現在勤務している TTU 等の教育機関は、この取り組みを熱心に支援しています。TTU は、私たちの教育機関が、留学生を実際に非常に歓迎していることを伝えることを試みた動画を投稿しました (Texas Tech University、2019)。

また、TTU の建物の入り口、国際文化センターに新しい看板を掲示しました (以下図 3 参照)。



図 3. テキサス工科大学国際文化センターの多言語によるウェルカムの表示

米国政府は変わり、日本からの潜在的な学生に前向きなメッセージや歓迎のメッセージを送っていませんが、米国の大学の態度には変更なく留学生を歓迎します。

米国の教育機関とそのコミュニティは、何百万人もの留学生を、世界最大の留学生受入国として長年にわたって受け入れてきました。彼らは、留学生が彼らの教育機関のスクールライフ、研究に対して、健全さにもたらす多大な貢献をしていることを認識し、評価し、尊敬しています。

留学生を担当する事務所は、米国政府が行っている誤った印象に対抗するための最前線にあり、政府が課した障害のいくつかを留学生が克服することを支援しています。

障害の1つは、2001年の米国攻撃（911テロ）後に導入された追跡および監視データベースである Student Exchange Visitor System (SEVIS) です。このデータベースにより、米国政府は、留学生が米国の高等教育機関に入学して、留学生プログラムを完了して米国を出発するまで、追跡し監視することができます。これは国土安全保障省 (DHS) の政府システムですが、このシステムに情報を入力し、入国管理書類を発行するのは米国の大学の職員です。

留学生は、米国の大学に入学してから、通常は母国の米国大使館で学生ビザを申請する前に、最初に SEVIS とやり取りする必要があります。入学後、学生は大学から F-1 または J-1 SEVIS 入国管理書類と受諾書を受け取ります。F-1 学生は学位プログラムの SEVIS フォーム (フォーム I-20) を受け取り、J-1 学生はフォーム DS2019 を受け取ります。J-1 文書は通常、1 セメスターまたは 1 年間の交換プログラムに参加する学生に発行されます。F-1 I-20 は通常、語学または学位プログラムに参加する学生に発行されます。

私は留学生を支援する事務所で大学の職員として働いています。私は教育機関に対して責任を負っていますが、SEVIS の指定学校関係者 (PDSO) でもあります。

私は PDSO として、私たちの教育機関に通う留学生も担当しています。私のようなオフィスは、

仲介として、警察としてではなく SEVIS と関与します。

留学生は情報を提供し、私たちと通信をやりとりします。私たちは、学生と教育機関に代わって SEVIS と通信します。また、学生の入国管理書類を SEVIS (I-20 および DS2019) で発行し、SEVIS 政府の規制に基づいて学生と教育機関が負う義務を伝えます。これらの政府プロセスに関して私たちが提供するサポートがあれば、ほとんどの学生は滞在中に米国政府と問題を起こすことはありません。

米国の大学は、留学生を支援するために、教育機関に多額の費用をかけて、留学生を支援する事務所に資金を提供しています。私の事務所や他の事務所では、留学生が歓迎され、米国への志向を深めることを支援するためのプログラムも提供しています。これらのプログラムは、学生が米国の文化と米国の高等教育の期待を理解するのに役立っています。また、プログラムを提供し、課外活動をアレンジすることにより、学生が大学や周辺地域の生活に溶け込むことを支援します。

III. 米国の大学教育の高コスト

1. 米国で学位を取得するためのコストの増加

米国の学位の費用は、他のほとんどの商品やサービスの賃金やインフレ率よりもはるかに速く上昇しています (Maldonado, 2018)。これには、州政府がカレッジや大学に提供するサポートの減少、教育以外のサポートスタッフの増加、レクリエーションセンター、学生の健康状態などのサポートサービス、カウンセリングサービス、および学術サポートサービスの設備に関連するコストの増加など、さまざまな理由があります (Ripley, 2018 年)。

留学生の場合、この負担の増加は倍増します。留学生および他の州に居住する学生のための授業料は、州外の授業料とよばれます。この州外授業料の金額は、通常、州内の米国居住者の場合の 2 倍です。留学生のコストを増加させる他の要因として、母国からの往復交通費、および異国での住居の確保と設定のコストが含まれます。米国の多くの都市では公共交通機関が限られているため、交通費も高くなる可能性があります。キャンパス内での生活も費用がかかります。ほとんどの場合、1 年時の大学生はキャンパス内で生活する必要があります。

以下の表 1 は、さまざまな州の公立および私立学校の平均州内および州外の授業料と料金の例を示したものです (College Tuition Compare, 2020a)。

State	Number of Schools	Tuition & Fees			Living Costs	
		In-State	Public Out-of-State	Private	On-Campus	Off-Campus
Alabama	97	\$6,931	\$13,348	\$16,852	\$12,115	\$12,092
California	758	\$3,088	\$11,992	\$27,706	\$16,692	\$18,828
Minnesota	121	\$8,231	\$8,783	\$28,814	\$11,759	\$12,617
North Carolina	188	\$3,356	\$10,842	\$25,674	\$13,546	\$13,576
New York	479	\$7,011	\$14,183	\$25,760	\$14,529	\$15,998
South Dakota	31	\$9,419	\$9,284	\$17,524	\$11,790	\$11,555
Texas	461	\$4,833	\$10,530	\$21,329	\$13,022	\$13,025
Vermont	27	\$13,128	\$28,190	\$40,742	\$15,097	\$13,758
Washington	118	\$5,472	\$11,054	\$31,152	\$14,105	\$14,398
Wyoming	11	\$4,316	\$11,085	-	\$10,148	\$11,786
Average		\$5,099	\$11,901	\$25,616	\$14,539	\$15,604

表 1. 米国のさまざまな州の公立および私立学校の州内および州外の授業料と料金の例

(出典: College Tuition Compare、2020a)

表 1 からわかるように、州外の授業料と手数料の費用は、ほとんどの州での州内の授業料と手数料の約 2 倍です。ただし、州によって大きな違いがあります。カリフォルニア州の州外の授業料と手数料の平均コストは、州内の授業料と手数料のコストのほぼ 3 倍であることに注意してください。

リストにある 2 つの州、ミネソタ州とサウスダコタ州では、州内と州外の授業料と手数料の費用はわずかに異なります。

さまざまな州での生活費も大幅に異なります。たとえば、カリフォルニア州は再び例にしますと 18,828 ドルで最高です。対照的にノースダコタ州での生活費は 11,555 ドルです。

ほとんどの州では、留学生は州外の授業料と手数料を支払う必要があります。ただし、このルールには例外があります。その例外の 1 つはテキサス州です。テキサス州では、別の州または別の国からの学生（留学生）が 1 年間に 1,000 ドルを超える競争的奨学金を受け取ると、その学生は州内の授業

料を支払う資格を得ることになります。これらの奨学金は、留学生が米国外に居住している場合、資格を得ることは一般に困難です。

米国外に居住しているときに1,000ドルの競争力のある奨学金を獲得する1つの方法は、SATまたはACTの大学入試で高得点を取得することです。これらの試験は英語で行われ、米国文化に基づくため、一般的に留学生が高得点を得るのは非常に困難です。

留学生が、テキサス州内の学費と手数料の資格を得る競争力のある1,000ドルの奨学金を獲得するもう1つの方法は、最初にコミュニティカレッジに参加し、その後大学に編入することです。

米国のどこかで約2年間コミュニティカレッジに通い、優れたGPA（平均点）（通常3.2以上）を取得した学生は、テキサス州のほとんどの大学で1,000ドルのコミュニティカレッジ編入奨学金の資格を得ます。これらの奨学金は、学生に州内の授業料と料金を支払う資格も与えます。これは、留学生の費用を大幅に削減するためです。以上が、テキサス州の大学で学ぶ留学生が多い理由の1つです。

留学生の人口が多いのはニューヨーク州とカリフォルニア州だけであり、米国の全留学生の3分の1はカリフォルニア州、ニューヨーク州、またはテキサス州に住んでいます。

米国のすべての州のコミュニティカレッジでの州外授業料は、大学での州外授業料よりもはるかに安いことを銘記してください。

2. コミュニティカレッジに参加するメリット

最初の2年間のコミュニティカレッジへの参加は、米国で4年間の学位取得にかかる費用を削減するための最良の方法です。コスト削減に貢献するいくつかの要因は次のとおりです。

- ・授業料：コミュニティカレッジでの授業料は、大学の授業料よりもはるかに安いです。
- ・学外的生活費が安価：学生は新入生の年に学外に住むことができ、学内の住宅よりもはるかに安価です。
- ・コミュニティカレッジ転校生の奨学金：ほとんどの大学では、CCから転校する学生に転校奨学金を提供しています。（2年間の出席後、平均以上のGPA、通常3.2以上）

コミュニティカレッジに通うことのコスト上の利点に加えて、コミュニティカレッジのクラスの規模は一般的にははるかに小さいです。少人数のクラスでは、教授は個別に注意することができサポートも提供できます。大学では、最初の2年間はクラスサイズが一般的に大きく（クラスによっては、大学の1年生と2年生の場合、学生が500人になることもあります）、これらのクラスは通常、フルタイムの教員ではなく大学院生が教鞭をとります。

以下では、カリフォルニア州にある2つの大学とコミュニティカレッジ（以下の表2、3）とテキサス州にある2つ（以下の表4、5、6）の4種類の大学とコミュニティカレッジについて、College Tuition Compare Web サイト（2020b）の情報を使用しました。これらの例は、米国のすべての州のすべての大

学について、このサイトで入手できる情報を示すためのものです。これらの例では、州外の授業料を支払う大学での4年間の費用と、コミュニティカレッジでの2年間の費用、その後の大学での州外の授業料と手数料の支払いで2年間の費用の違いも強調しています。Texas Tech Universityの場合のみ、コミュニティカレッジで2年間、TTUで2年間の価格を州内の授業料と手数料(競争力のある1,000ドルのコミュニティカレッジ編入奨学金に基づく)も示しています(表6)。

表2. カリフォルニア州で最初の2年間にコミュニティカレッジに通うことで、どのようにしてお金を節約できるか(競争力のある大学の場合)。

	大学で4年	コミュニティカレッジで2年+大学で2年
学校名	University of California-Berkeley	Berkeley City College (a community college) and the University of California-Berkeley
カレッジ費用 (州外の授業料)	\$176,028	\$103,584

表3. カリフォルニア州の最初の2年間にコミュニティカレッジに通うことでお金を節約する方法の例(競争力のない大学の場合)

	大学で4年	コミュニティカレッジで2年+大学で2年
学校名	California State University Chico	Shasta College (a community college) and California State University Chico
カレッジ費用 (州外の授業料)	\$78,544	\$54,984

表4. テキサス州の最初の2年間にコミュニティカレッジに通うことでお金を節約する方法の例(競争力のある大学の場合)

	大学で4年	コミュニティカレッジで2年+大学で2年
学校名	University of Texas Austin	Austin Community College and the University of Texas Austin
カレッジ費用 (州外の授業料)	\$153,304	\$98,312

表5. テキサステック大学の最初の2年間と2年間にコミュニティカレッジに通うことでお金を節約する方法の例（競争力の低い大学の場合）

	大学で4年	コミュニティカレッジで2年+大学で2年
学校名	Texas Tech University	South Plains College (a community college) and Texas Tech University
カレッジ費用 (州外の授業料)	\$77,040	\$38,520

表6. 最初の2年と2年にテキサス工科大学でコミュニティカレッジに通い、コミュニティカレッジの転校奨学金と州内の学費をTTUで受講することで、お金を節約する方法の例。

	大学で4年	コミュニティカレッジで2年+大学で2年
学校名	Texas Tech University	South Plains College (a community college) and Texas Tech University
カレッジ費用 (州外の授業料)	\$77,040 (out-of-state tuition & fees)	\$24,008 (州内の授業料とTTUの料金(1,000ドルの競争力のあるコミュニティカレッジ編入奨学金に基づく))

3. 米国の大学院学位をほとんどまたはまったく経済的費用なしで獲得する

米国で最大の留学生の一部はアジア系インド人です。大学生と大学院生の両方が混在する中国の学生とは異なり、インドの学生の大多数は大学院生です。そのうち、過半数は米国の大学での学術プログラムの授業料をほとんどまたは全く支払っていません。これらの学生は、インドの大学で学部課程を修了し、その後、米国に来て、研究またはアシスタントの指導に携わっている間に、米国の大学で大学院の学位を取得します。研究または教育助手として雇用されている学生は、大学に応じて、州内の授業料（たとえばテキサス州）を支払うまたは授業料免除（たとえばミズーリ州やワシントンなどの州）の資格があります。

これらの機会は、日本人を含むすべての国籍の学生に開かれています。米国の大学で研究または教育助手としての資格を得るには、学生はまず入学し（英語試験に合格することを含む）、通常は研究または指導助手を支援する資金を持つ学部の教員と連絡を取る必要があります。米国の大学の教育および研究アシスタントの大部分は留学生です（特に科学技術工学および数学の分野）。これは、日本の大学院生が米国の大学、大学院で学習する際に自立するための素晴らしい方法です。これらのアシスタ

ントシップの学生が完全な授業料免除の資格を持たない州（例えばテキサス）では、プログラムは多くの場合、学生の給料を引き上げ、学生は研究または教育助手として雇用を通じて提供された資金から授業料を支払うことができます。

IV. 米国の多様なタイプの機関と複雑な高等教育システムの中から適切な学校を選択する

日本の学生は、どの大学に進学するかを選択する必要があります。アメリカ国内で教育機関を選択する場合と比較して、日本における日本人学生の意思決定プロセスは比較的簡単です。日米には私立と公立の両方の大学がありますが、米国の学生であっても、米国のさまざまな地域や州の選択肢の多様性には戸惑うことがあります。たとえば、米国には私立の非営利学校と私立の営利学校の両方があります。日本では、私立か公立かにかかわらず、各学校は文部科学省の監督下にあり、規制されているため、一貫性と標準化が進んでいます。この日本の事情は米国では当てはまりません。各州の異なる大学には、入学金と授業料の独自の基準があります。私が先述したように、いくつかの州の公的機関は、州外の学生にはるかに高い授業料と手数料を請求します。さらに、テキサスなどの一部の州では、学生が州内の授業料の資格を得る方法があります。他の州では、学部留学生在が州内の授業料の資格を得る方法はありません。

米国の一部の学校は、全体的に高い評価はされていませんが、非常に高く評価されている特定のプログラムは提供しています。一方、全体的に非常に高い評価を受けている学校の中には、特定のプログラムの評価が低い学校があります。いくつかの高評価の学校は、コミュニティカレッジで2年間成績が良ければ、コミュニティカレッジに通った後に学部生として受け入れます。これらの状況では、4年の学位は、学生が授業の最初の半分を受講したコミュニティカレッジではなく、高評価の学校によって発行されます。

学生の決定をさらに複雑化しているものとして、イリノイ州などの一部のコミュニティカレッジでは、コミュニティカレッジ（通常は他の州では2年制の学校）が多種多様な専攻の4年制学士号を取得できるようにしています。

日本では、大学の特定の学部やプログラムの質に関係なく、高等教育機関の知名度が、日本人学生の大多数の応募者にとって最も重要な検討事項です。たとえば、京都大学や東京大学に入学した場合、主要な研究分野が何であれ、学生たちはトップに到達したので、将来の就職の機会是有利であると感じています。高等教育機関の一般的な名声も米国では重要ですが、部門やプログラムの質も非常に重要です。たとえば、ハーバード大学のすべてのプログラムが、他の、一般的にはそれほど有名ではない大学のプログラムと比較すると、最高というわけではありません。この点が、日本人の学生が出願する学校を選ぶときに把握すべき重要なことです。日本の学生は、主にまたは特定の教育機関の知名度だけでなく、全米のさまざまな大学で提供されるプログラムの質に重点を置く必要があります。

学生にとって最高のプログラムのいくつかは、彼らがより有名な機関よりも授業料と生活費がはるかに安い大学であるかもしれません。日本の学生がめったに検討しない非伝統的な州の1つの例は、ノースカロライナ州です。この州には米国で最も優れた大学がいくつかありますが、米国の東海岸と西海岸にある学校に集まる日本人学生の大多数には見向きもされません。ノースカロライナ州は最近、大学教育をより手頃なものにするプログラムを立ち上げました。このイニシアチブは「ノースカロライナの約束」と呼ばれています。多くの低所得の米国の学生は大学教育の費用を賄うことができないという事実に対応して、州は3つの大学が彼らの授業料率を劇的に下げることが可能なための補足的なリソースを確保しました。これらの3つの学校とは、ウエスタンカロライナ大学、ノースカロライナ大学ペンブローク、エリザベスシティ州立大学です。そのうちの1つであるウエスタンカロライナ大学(WCU)に焦点を当てます。WCUは、ノースカロライナ州や米国南部で最高のビジネススクールの1つを持っていますが、その地域の他の大学ほど一般的には高く評価されていません。また、工学、科学、医療、教育、人文科学、芸術における優れたプログラムも提供しています。

この学校の授業料は、州内の学生には500ドル、州外の学生には2,500ドルに減額されました。この州外の授業料は留学生にも適用されます。この学校に4年間通うための授業料と費用は43,616ドルです。学生が米国の他のどこかのより安価なコミュニティカレッジに2年間在籍し、学部課程プログラムの最後の2年間はWCUに編入することを選択した場合、この価格は2年間21,808ドルの半分になります。WCUはさまざまな機会のほんの一例です。

V. 米国における個人の安全に関連する懸念

米国で学位を取得することに関して学生と保護者の間で最大の懸念の1つは安全です。近年、よく知られた大量死の銃乱射事件があり、そのいくつかは大学のキャンパス内で起こりました。私を含め、誰もこれらの出来事の深刻さを軽視したり、何らかの方法で阿ったりしてはいません。6年間、日本で暮らし働いている間、私はこのような心配をしたことはありませんでした。私は日本の安全レベルを非常に高く評価しています。日本などの比較的安全な環境で育った方、特に日本人の留学生と保護者は、米国でのこれらの事件の発生は、心配になります。ただし、保護者と留学生は、このことは米国のキャンパスにとって大きな懸念事項ではあるが、米国のキャンパスを安全に保つための措置を講じていることも知っておく必要があります。

1. 学生と保護者向けのキャンパス犯罪統計

米国政府は、学生とその両親が米国のキャンパスの安全とセキュリティに関する正確なデータを持っていることを望んでいます。その結果、米国のすべてのキャンパスは、学生とその両親が、どの大学に通うべきか、情報に基づいた決定を行えるように、キャンパスで発生した犯罪の報告を米国政府から厳密に要求されています。これらの統計は公開され、米国政府のWebサイトから簡単にアクセス

できます。これらの事件を報告しなかった大学の罰則は厳しいので、両親と学生は情報が一般に信頼できると確信することができます。

昨年、私は、留学生と学部のオフィスのディレクターとして、キャンパスの職員が報告しなければならない犯罪を説明する米国の法律に関する2日間の研修に参加する必要がありました。

米国のキャンパスで発生した後に報告しなければならない犯罪の種類には、たとえば、強盗、強姦、車の盗難などがあります。保護者は政府のWebサイトにアクセスして、学生が入学を検討している特定のキャンパスで報告された犯罪を確認できます。このWebサイトでは、親と学生は米国のすべての大学の犯罪統計を見つけ、複数の大学のデータを比較することもできます。

The screenshot shows the website for the U.S. Department of Education's Campus Safety and Security analysis tools. The page has a red header with the CSS logo and navigation icons. The main content area is titled "The tools you need for Campus Safety and Security analysis" and features five colored boxes with descriptions of different data analysis tools:

- Get Data for One School**: Search for a school to view general information and the past three years of safety- and security-related statistical data for the entire school or by campus.
- Compare Data for Multiple Schools**: Select up to four schools to see a side-by-side comparison of aggregated data for the most recent year, along with an option to view the number per 1000 students.
- Download Custom Data**: Select the safety- and security-related statistical data you are interested in for one or more years and download data for a customized group of schools.
- Generate Trend Data**: Select a subject area and a question that you are interested in, and then see the answer for a selected year, build a table, and see a graph that shows the trend over time. You can customize your results by various institutional characteristics such as public or private, 2-year or 4-year, or state.
- Download Data**: Download the complete data file for all institutions from a single data collection. Files will include all data submitted by all institutions in the selected survey year.

図4. 米国のキャンパス安全およびセキュリティ分析ツール（出典：米国教育省、2020年）

2. キャンパス警察

日本の保護者と学生は、多くのキャンパスに安全とセキュリティに取り組む独自の警察署があることも知っておく必要があります。私が勤務している施設では、平均して、キャンパスポリスは、夜遅くても3分未満で緊急速報に対応します。さらに、ほとんどの米国のキャンパスでは、緊急電話ボックスが設置された明るい場所が複数あります。学生が困ったら、これをいつでも利用できます。警察はこれらのコールボックスのロケーションマップを持っているので、たとえ電話をかけるだけで話せない場合でも、コールが発信された場所にすぐに到着します。

3. キャンパス内の安全な交通手段

夜遅くに学生を保護するために、ほとんどの米国のキャンパスでは、キャンパスを一人で歩くのが安全でないと感じている学生が通学するときに、24時間年中無休で安全な交通手段を提供しています。

学生は、何らかの形で不安を感じた場合、昼夜を問わずいつでもこのサービスに電話をかけることができます。サービスは学生を迎えに行き、多くのキャンパスのキャンパス外の場所にさえ、彼らが行く必要があるどこへでも彼らを連れて行きます。

4. 米国のキャンパスでの性的暴力、嫌がらせ、差別

キャンパスが報告しなければならない犯罪のタイプの1つは、性的暴行です。日本の学生とその保護者にとって、米国政府同様に米国のキャンパスが、これらの特定の犯罪を非常に真剣に受け止めていることは、安心なことです。

1972年、米国政府はTitle IX規制と呼ばれるものを可決しました。この法律は包括的な連邦法であり、連邦政府の助成を受けた教育プログラムまたは活動において、性別に基づく差別を禁止しています。この法律の結果、米国のすべての公的資金を受ける大学は、性的暴力、嫌がらせ、および差別から学生を保護するために多大な努力を払う必要があります。すべての米国のキャンパスにも、これらの懸念を監視するスタッフがいます。このスタッフは、苦情を受け取り、犠牲者に代わって行動を起こす役割を担っています。性的暴力、嫌がらせ、差別を構成するものについて大学を教育することも彼らの責任です。すべての大学の職員は、Title IXに関するトレーニングを受ける必要があり、目撃したり気づいたりした事件を報告する必要があります。

5. 安全と学校の場所

安全性の問題を検討するとき、大都市圏の学校は一般に犯罪率が高いことに注意することが重要です。これは、中西部や南部など、国の伝統的でない地域の大学への進学を検討するもう1つの理由です。これらの学校の多くは優れたプログラムを提供しており、高い成長と経済活動を経験している米国の地域にあります。これらの学校の多くは、一般的に安全で生活費の安い農村地域にもあります。伝統的に、日本からの学生は米国の西海岸と東海岸（カリフォルニア州とニューヨーク州）にある学校を選びます。これらの州の学校は、米国の中西部および南部の学校よりも犯罪率の高い都市にあることがよくあります。

VI. 最後に

留学を奨励するために日本政府と民間の会社が提供するサポートは、過去10年間で劇的に増加しま

した。このサポートは、トビタテ奨学金を含むさまざまなイニシアチブを通じて、日本が将来の経済および政治的活力に資する留学の重要性について政府が強く表明したものです。日本の外務省(MOFA) (2020) の Web サイトで、次のステートメントを見つけました。

「政府は、2020 年までに日本人の海外留学者数を 12 万人にまで倍増する目標を掲げています。外務省としても、豊かな語学力、異文化体験を身につけ、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成が急務との認識から、日本人の海外留学を推進しています。」

文部科学省の Web サイトは、これらのイニシアチブ (2020) の背後にある政府の意図に関する声明を掲載しています。

「文部科学省では、将来の日本を担う若者が、国際的な舞台での競争に勝ち抜き、学術研究や文化・国際貢献の面でも世界で活躍できるようにするため、高等教育等における留学機会を拡充し、真のグローバル人材を育成するため、留学促進キャンペーン「トビタテ！留学 JAPAN」を推進して若者の海外留学への機運の醸成を図るとともに、民間企業等の協力を得た「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」の展開や国費による海外留学支援の推進によって、学生等の経済的な負担の軽減等に取り組んでいます。」

この論文で前述したように、現在留学している日本人学生数は過去数年間で大幅に増加しています。この増加は、留学の機会を増やすよう奨励した日本政府および民間会社の支援の結果の一部です。

ただし、この増加のほとんどは短期留学参加型であり (Porter, Edmond, および Ota, 2018)、問題にすべき点があります。これらの短期プログラムは、日本のグローバル競争力を向上させるための基礎として、「グローバルな分野で課題に積極的に取り組み、成功できる人材」を育成する (文部科学省 2020 年)、「外国語と異文化理解の貴重なスキルを備えた、ますますグローバル化する世界で活躍できる才能のある個人」を育成する。(外務省 2020 年) という日本政府の目標を効果的に前進させているのでしょうか。短期的な体験は確かにこれらの目標に貢献します。ただし、リスクを受入れ、米国でも他の国でも長期的な学位プログラムを修了するという、より革新的な決定をもった学生に支援を意図的にシフトすることをお勧めします。

これらの長期学位プログラムこそが、日本政府の目標にさらに効果的に機能し、相互に関係し依存し合う世界における日本の健康と活力を保証するものです。

参考

College Tuition Compare (2020a). *2020 Tuition, Fees, and College Costs By State*. Retrieved March 10, 2020, from <https://www.collegetuitioncompare.com/state/>

College Tuition Compare (2020b). *2020 Search Colleges and Universities*. Retrieved March 10, 2020, from <https://www.collegetuitioncompare.com/search>

- Institute for International Education (2020). *Open Doors Report*. Retrieved March 16, 2020, from <https://www.iie.org/Research-and-Insights/Open-Doors/Data/US-Study-Abroad/Duration-of-Study-Abroad>
- Maldonado, C. (2018, July 24). Price of college increasing almost 8 times faster than wages. Retrieved February 20 2020 , from <https://www.forbes.com/sites/camilomaldonado/2018/07/24/price-of-college-increasing-almost-8-times-faster-than-wages/#50f3dd6d66c1>
- Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology-Japan (2020). *Project for Promotion of Global Human Resource Development*. Retrieved March 18, 2020, from <https://www.mext.go.jp/en/policy/education/highered/title02/detail02/sdetail02/1373895.htm>
- Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) (2020). *People to people exchange* Retrieved March 18, 2020, from, <https://www.mofa.go.jp/policy/culture/people/student/index.html>
- NAFSA: Association of International Educators (n.d.). #youarewelcomehere. Retrieved March 20, 2020, from <https://www.youarewelcomehereusa.org/>
- Porter, R. H. (2016). Select Japanese University Administrators' Perspectives on Japanese Study Abroad Trends, Sam Houston State University. ProQuest Dissertations and Theses.
- Porter, R. H. (2018a). 海外留学を断念する前に、ぜひ知っておきたい大切な情報：米国大学の国際交流室職員の視点より- パート 1. Child Research Net. Retrieved March 20, 2020, from <https://www.blog.crn.or.jp/report/02/244.html>
- Porter, R. H. (2018b). 海外留学を断念する前に、ぜひ知っておきたい大切な情報：米国大学の国際交流室職員の視点より- パート 2. Child Research Net. Retrieved March 20, 2020, from <https://www.blog.crn.or.jp/report/02/250.html>
- Porter, R. H. (2018c). 海外留学を断念する前に、ぜひ知っておきたい大切な情報：米国大学の国際交流室職員の視点より- パート 3. Child Research Net. Retrieved March 20, 2020, from <https://www.blog.crn.or.jp/report/02/256.html>
- Porter, R., Edmond, R. & Ota, H. (2018, May). Recruiting students from Japan: Current opportunities and challenges. Session conducted at the meeting of the Association of International Educators, Philadelphia, PA.
- Ripley, A. (2018, September 11). Why is College in America So Expensive? The outrageous price of a US degree is unique in the world. *The Atlantic*. Retrieved February 1, 2020, from <https://www.theatlantic.com/education/archive/2018/09/why-is-college-so-expensive-in-america/569884/>

Texas Tech University (2019). Texas Tech University - YouAreWelcomeHere. Retrieved March 20, 2020, from https://www.youtube.com/watch?v=hKQsliBB_g0

US Department of Education (2020). Campus Safety and Security. Retrieved March 10, 2020, from <https://ope.ed.gov/campussafety/#/>